

新名所旧跡を巡るコース

※地図やそれぞれの位置などは簡略化しているところもあります。
 詳しい情報が必要な場合は市販の地図などでご確認下さい。
 ※この地図は平成 28 年 12 月の情報をもとに作られています。

バス停
 ちいばす
 都営バス



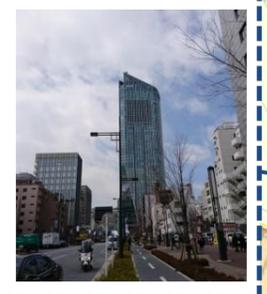
★日比谷神社
 過去に数回の移転をしています。元は現在の日比谷公園内に鎮座していましたが、慶長年間江戸城の拡張の際に現在の東新橋に移されます。そして、明治時代に、東海道線の敷設に当たり新橋 4 丁目に遷座します。そして、2009 年に都道環状 2 号線の建設を受けて、現在の第一京浜沿いに遷座しました。



カレッタ汐留
 展望スペースでは、浜離宮恩賜庭園やお台場方面が見えます。冬場はイルミネーションがおこなわれます。



虎ノ門ヒルズ
 誰でもトイレにはオストメイトもついています。



神谷町駅
 4a 出口に車いす用階段昇降機があります。

NHK 放送博物館

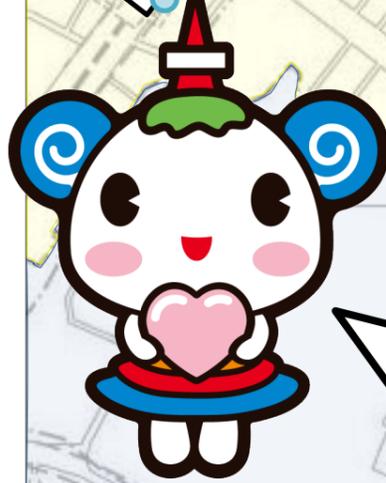
愛宕神社や NHK に向かうためのエレベーターがあります。

浅野内匠頭(あさのたくみのかみ)石碑

★浅野内匠頭(あさのたくみのかみ)石碑
 新橋四丁目の交差点に「浅野内匠頭終焉之地」という石碑が建っています。元禄 14 年に、播磨赤穂藩主であった浅野内匠頭が切腹した赤穂事件ゆかりの地です。付近の和菓子屋さんでは赤穂事件にちなんだ「切腹最中」が売られています。



エレベーターで地下に入り、カレッタに向かう地下道を歩きます。

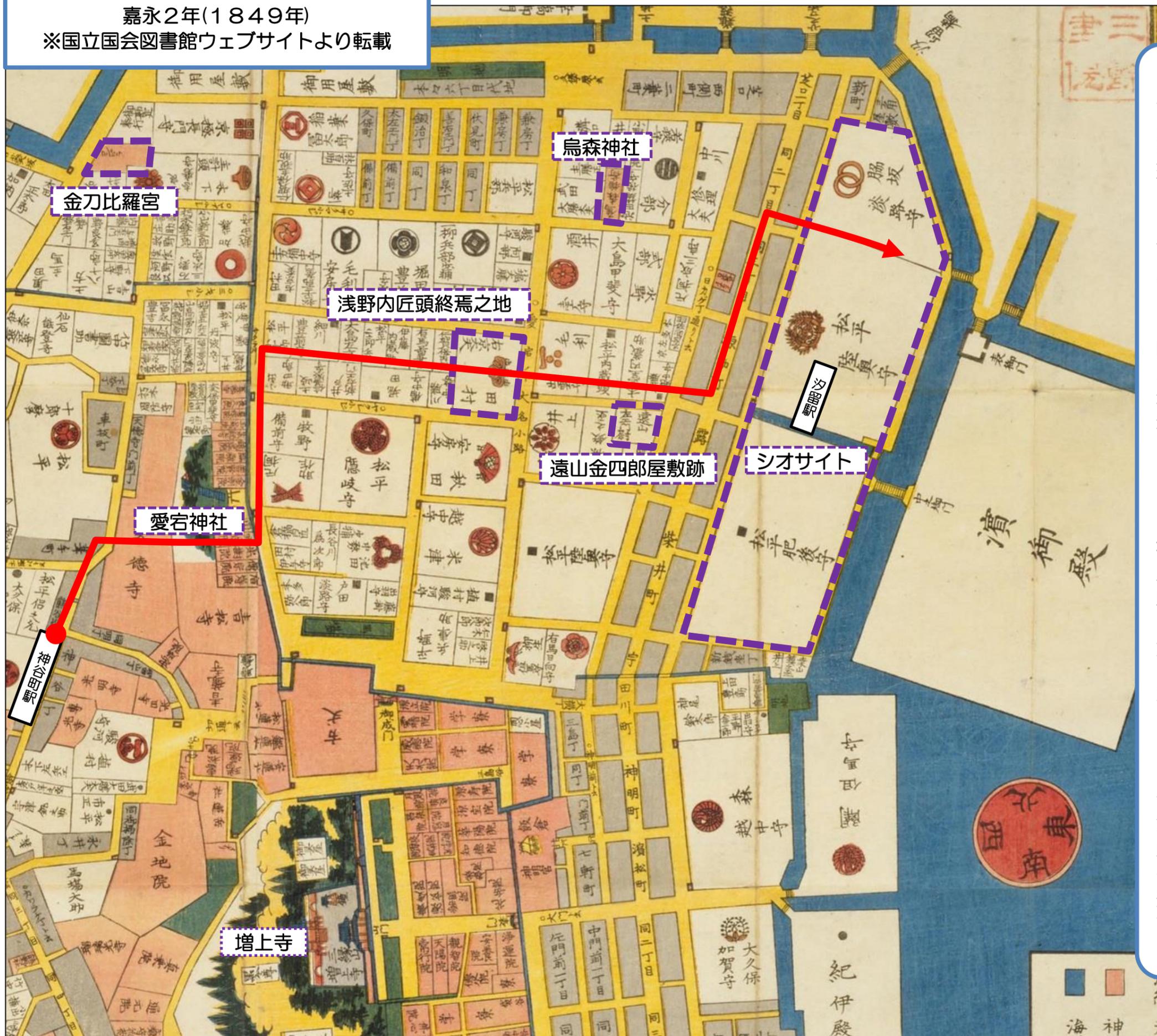


ゆっくり歩いたり、休んだりしながら回ると、2時間ぐらいです。皆さんのペースに合わせてお散歩を楽しんでください。

〔江戸切絵図〕、芝愛宕下絵図

嘉永2年(1849年)

※国立国会図書館ウェブサイトより転載



江戸時代に新橋 愛宕エリアは武家屋敷が数多く立ち並んでおり、有名な大名の屋敷も多くありました。古地図と照らし合わせてみると、現代においても跡地をたどることができます。

遠山の金さんとして時代劇で知られる遠山金四郎の屋敷跡地が現在の新橋 5 丁目の交差点付近にあったといわれています。

江戸城松之廊下で刃傷事件を起こした浅野内匠頭は田村右京太夫屋敷跡（奥州一関藩）の上屋敷庭で切腹しました。この屋敷跡は現在の新橋赤レンガ通りを渡った一帯にありました。新橋赤レンガ通りは古地図の愛宕下大名小路と表記されています。

また、シオサイトの一帯には、江戸時代に3つの大きな大名屋敷がありました。まず、旧新橋停車場やカレッタ汐留、電通本社ビルなどの周辺は、脇坂淡路守（播磨龍野藩）の広大な上屋敷。東京汐留ビルディングのあたりは、松平陸奥守（仙台藩伊達家）の上屋敷。大江戸線汐留駅に近い汐留住友ビルディング、ホテルヴィラフォンテーヌ汐留のあたりは、松平肥後守（陸奥会津藩）の中屋敷でした。

新虎通りは江戸時代に江戸城下町を拡張するための埋め立てが行われ、その後は主に大名や旗本・御家人等、多くの武家屋敷が建ち並び武家地として利用されてきました。その為、新虎通りを作るにあたり、埋蔵文化財発掘調査が行われ、屋敷の建物跡、石垣（間知石）、上水道等の遺構や陶磁器、木製品等の遺物が出土しています。

コースを考えよう！

ボランティアの皆さんと意見交換を行いました。

愛宕から汐留に抜けるのであれば、コースとして可能ではないか。

NHK 放送博物館、愛宕神社はエレベーターで行くことができる。

イルミネーションを見られるところを入れるのはどうか。

新虎通りについては、歴史的な情報を入れ、それを思いながら歩いてもらうよう考えてはどうか。



意見交換での内容を地図にまとめてコースを考えました。



ボランティアの人たちと
実際にコースの確認に行きました。





カレッタ汐留からはとてもきれいな景色を見ることができました。



浅野内匠頭の切腹した屋敷があったところには石碑が立っています。



虎ノ門ヒルズには広い広場があり椅子も置いてあるので休憩もできます。



NHK 放送博物館と愛宕神社にはエレベーターで行くことができます。

このようにしてコースができました。
参考に見てみてください！
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

